

多様化する構造デザイン出版記念シンポジウム

『未来へと繋ぐ平成時代の軌跡』

プログラム

＜開会＞（司会：与那嶺仁志）

開会あいさつ 与那嶺仁志
はじめに 金田勝徳
基調講演 斎藤公男
書籍の構成 竹内徹

＜平成時代の構造デザイン＞（進行：金田充弘）

・前半・

- 1) スーパーラクチャーから制振・免震構造へ移行した超高層（原田公明）
- 2) 地震応答制御によって生まれる多彩な建築（山脇克彦）
- 3) 時代の要請に応える既存建築の耐震改修と利活用（満田衛資）
- 4) 時代の要請に後押しされて華やいだ大空間構造とスタジアム（細澤治）
- 5) 多様な合理性を展開したハイブリッドテンション構造（宮里直也）
- 6) 空間の多様性を演出する膜構造（大野博史・萩生田秀之）

・後半・

- 7) 単純な幾何学形態から脱却したRCシェル構造（浜田英明）
- 8) RC・PCの新たな造形と空間表現（早稲倉章悟）
- 9) 多様な鋼材の応用によって高まる薄さ・軽さ・透明感（多田脩二）
- 10) 材料特性の活用と社会の要請から生まれたハイブリッドな構造（伊藤潤一郎）
- 11) 大規模から中規模への木造建築の領域の拡大と木質材料・接合部の多様化（山田憲明）

＜まとめ＞

対談 佐々木睦朗 × 佐藤淳
総括 金箱温春

＜閉会＞

主催

日本構造家倶楽部

開催

8月4日（木）16:00～19:00
受付開始 15:30

会場

日本大学理工学部駿河台校舎
タワースコラ1階

（※申込者が定員を超過した場合は、タワースコラ上階の別教室でのオンライン参加となります。その際、学生の参加費は無料となります）

会費

一般：1000円
学生：500円

申込

A-Forum

<https://ws.formzu.net/dist/S274164684/>